

むかいしま ゆた しぜん い
『向島の豊かな自然と生きもの』

第65回「テングチョウと虫の整理」

2025年夏。ものすごく暑い日が続きました。その暑い夏が始まった頃、向島洋らんセンターに発生したテングチョウ(タテハチョウ科)。

年に一度発生する、例年通りの見慣れたチョウだったが、今年は違った。何が違ったかという、洋らんセンターにはもちろんのことだがたくさんのランがある。このランの花にとってテングチョウは歓迎されない、いわば害虫の扱いだった。

それは6月中旬のこと、洋らんセンターのスタッフから“ランの売店に入ったテングチョウを何とかして欲しい”という要望があった。

チョウと花は切っても切れない関係なのに…と虫好きおじさんは思った。だけど、チョウがランの花粉に当たってもし花粉が取れてしまったら、ランは受粉が終わったと思って花を枯らしてしまう。売り物のランの花の寿命を短くしないために、売店の中に昆虫は入れたくないのだそうだ。

というわけで、ランの花に当たらないよう気を付けながら捕虫網をそっと振り、あっという間に10匹20匹と捕まえた。採ったチョウを放すわけにいかず…そーか！100匹捕まえて標本にしよう!!

このテングチョウは大発生することが知られていて、その発生のメカニズムは知らないけど、洋らんセンターではランの売店と研修室の間のアーケードになっている通路を中心に毎年大発生！ヒラヒラ、ヒラヒラ、捕っても捕ってもどこから湧いてくるみたいで飛んでいる。食樹はニシ科の樹木で、洋らんセンターにはエノキが多く有るので発生数が多いのはうなずける。

100匹を超えるテングチョウは2日間ほどで捕れたのだが、これを標本に…!? 集中力を切らさぬ様にして、数日かけて標本に94匹。失敗が20匹以上。

今回の展示は、テングチョウと同時に採れたチョウ3種と、虫の整理で皆さんに初めて見てもらえる甲虫目のハンミョウ科、ホタル科、ジョウカイボン科、ハネカクシ科、クビナガムシ科、ハサミムシ目のハサミムシ科。それぞれ魅力的なグループです。